



市民が支える仙台国際音楽コンクール



本コンクールのスタッフとして、その運営を幅広く支えるボランティア及びホームステイ受け入れ家庭を募集したところ、総勢295名ものボランティアが集まりました！「このコンクールを陰ながら成功させたい！」という熱心な人から「将来有望な外国人とお友達になりたい！」というミーハーな人まで実に様々。けれども、みんな、この国際コンクールを支えたいという気持ちには変わりありません。5月に世界中から集まる演奏者を温かく迎えるために、すでに着々と準備は進められています！ さあ、どんと来い！！（M♡）

この「コンチェルト」の発行をしています。コンクール期間中は出場者情報など臨時号として発行しますのでお楽しみに！

本コンクールのプレ企画である杜の街角コンサートなどの会場で運営業務をサポート！

出場者のための滞在のしおりを作成。仙台の観光名所やおいしいお店などの情報が満載！英語版もあるよ！

広報宣伝サポート ニュース班 10名

プレ企画サポート 31名

会場サポート 104名

広報宣伝サポート しおり班 18名

コンテストを終えた出場者を温かく迎えます。

ホームステイの受け入れ 53名

出場者サポート 79名

通訳や会場までの案内など出場者をしっかりサポートします。

コンクール会場で受付やチケット販売などの運営業務をサポートします。

仙台国際音楽コンクール

プレ企画ボランティアの方にインタビュー！

～3月22日(木) 仙台国際音楽コンクールプレ企画「協奏曲の夕べ」にて～
 プレ企画ボランティアの方は、もぎり、当日チケットやCDの販売などを主に
 行っています。会場には、いつも7～8人のボランティアの方がいるそうです。
 今回、チャイコフスキー国際コンクールの時もボランティアを行っていた小野寺
 さん。空いている時間を有効活用できて、すばらしい音楽も聴けるということで
 ボランティアに応募したという山下さんにお話を聞きました。
 仕事上、気をつけていることは、時間厳守。開場から開演までの短い時間に大
 勢のお客様がいらっしゃるので、混乱なくスムーズに入場ができるようにすること。
 又、お客様には丁寧な対応をすることだそうです。多くのお客様に、心ゆく
 まで楽しんでいただけるコンサート作りには気配りがとても大切だと感じました。
 最後に、仙台国際音楽コンクールに大勢のお客様が来て、盛り上がると、とても
 嬉しいとおっしゃっていました。(♪)



編集後記

▼仙フィルの方々による座談会。真面目な話の合間にお笑いも盛り込まれ、いやー、笑いました。(フルルテ)

▼初インタビューに、初原稿。無事に終わってヨカッタヨカッタ。(♪)

▼忘れた頃にやっつけてきちゃ、なにげに参加。これからは：(ロンド)

▼SIMCを陰で支える仙フィルにもっとご声援を！(黒一点)

▼セミアイナルでは、「聴衆賞」が設けられているとのこと。コンクールの魅力が急上昇。楽しみも倍増。絶対、聴きに行かなくっちゃ。(ナチュラル)

▼予選まで、もうすぐ。コンクール期間中は、タイムリーな情報をお届けします。

第1回 仙台国際音楽コンクール SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION



天才に出会う予感

コンチェルト

コンクールニュース

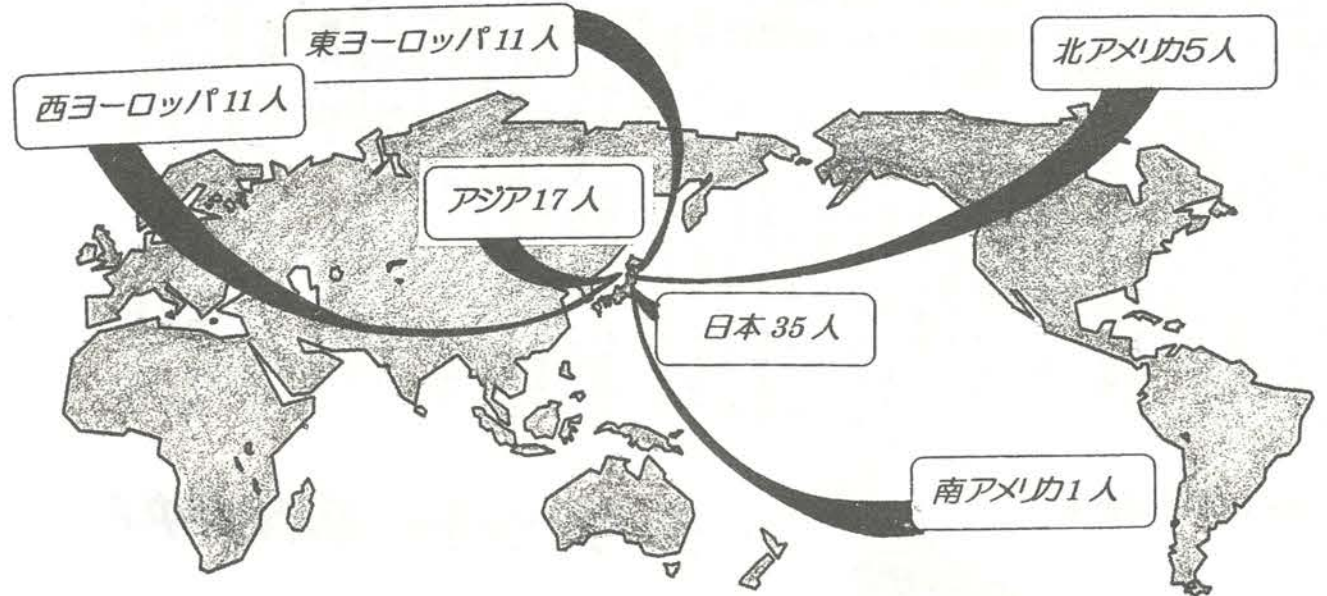
VOL.3
 発行日
 2001.4.26

■発行：仙台国際音楽コンクールボランティア ニュース班
 ■事務局：仙台国際音楽コンクール組織委員会
 〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-3-9
 Tel/022-715-8210・Fax/022-715-7030
 ■E-mail：simc@sh.comminet.or.jp
 ■URL：http://www.comminet.or.jp/~simc/



学都 楽都

2001年5月、世界中から
 才能あふれる若い演奏者が仙台に集まります。



宝探しは予選から

黄金週間が終わると、いよいよコンクールの扉が開かれます。「この日を待ち望んでいた」方も「何のコンクール？」という方も、もうおちおちしてはいられません！
 なんてたって「若き天才たち」が世界中から集まるんですから。実はここだけの情報ですが...「聴衆賞」も設けられているそうです。あなたもお気に入りの「天才」を見つけて、サポーターになりませう。コンチェルトのスタッフも少々興奮気味。コンクールに向けてダッシュしてます。



SENDAI INTERNATIONAL MUSIC COMPETITION
天才に出会う予感



仙台国際音楽コンクール
 第1回 仙台国際音楽コンクール
 開催：2001年5月12日(土)～6月9日(土)
 会場：仙台市青年文化センター
 ヴァイオリン 部門 ピアノ 部門
 5月12日(土)～5月26日(土) 5月26日(土)～6月9日(土)

コンクールスケジュール

予備審査 書類&任意の独奏曲 (録音テープ等) <申込締切:2000.9.30> 39カ国・地域 300名 非公開	オーディション 任意の協奏曲 (第1楽章) ピアノ伴奏 <2001年1月開催> 両部門190名32カ国・地域 世界4都市 (パリ・ニューヨーク・上海・仙台)
---	---

コンクール出場者決定!

◆いよいよコンクールが始まります◆

ピアノのオーディション(第1日目)をたっぷり2時間半聴きましたが、ただただ驚くばかりでした。まさに「天才に出会う予感」を体感し、実感しました。コンクールの醍醐味は何と言っても予選!! 今からとても楽しみです! (ナチュラル)

(2月)



出席して下さった皆さん。左より入交滋さん(ファゴット)、梅田昌子さん(ピオラ)、コンマス・渋谷由美子さん、矢崎雅巳さん(トロンボーン)、コンマス・西江辰郎さん

入交 つまみ今回、最も大変なのは指揮者の梅田(俊明)さんでしょうか。矢崎とこのコンクール、やは

梅田 今回のスケジュールは、平均年齢の若いメンバーだから可能なのでは、というプロオケだった文句が出たかもしれないよ。

西江 こうして話すうちに、大変だーという実感が伝わって来ます。(笑)でもよく「民族性の違い」と言われますが、そういうものが多少は演奏に反映されると思うんですよ。日本にいなからそういつた面に触られるのは楽しみですね。

梅田 今回のスケジュールは、平均年齢の若いメンバーだから可能なのでは、というプロオケだった文句が出たかもしれないよ。

西江 こうして話すうちに、大変だーという実感が伝わって来ます。(笑)でもよく「民族性の違い」と言われますが、そういうものが多少は演奏に反映されると思うんですよ。日本にいなからそういつた面に触られるのは楽しみですね。

入交 やはりもつと宣伝をかけて、たくさんのお客さんに入ってもらいたいですね。

定演にブレ企画にコンクールの準備。ハードスケジュールの間を縫って語ってくださいました。有難うございました!

(フォルテ)

コンクールひとくちメモ

ラフマニノフ 1873~1943 ロシア
 ロシアの由緒ある貴族の家庭に生まれ、モスクワ音楽院で作曲・ピアノを学びました。
 チャイコフスキーの影響を強く受け、豊かな旋律性とロシア的哀愁を帯びた叙情的作品は、今日でも高い人気を保っています。
 史上最高のピアニストの一人と言ってよいほどの優れたピアニストであったその技巧は、彼のピアノ作品にも生かされており、コンサートでも数多く演奏され、ピアニストにとっても欠かすことのできないレパートリーとなっています。
 主要作品にはピアノ協奏曲第2番(1901)・同第3番(1909)などがあります。

チケット 好評発売中!

- 予選 一般/1,000円・小中高/500円【全席自由】
- セミファイナル 一般/2,000円・小中高/1,000円【同上】
- ファイナル S/3,000円・A/2,000円【全席指定】
- 入賞者ガラコンサート S/4,000円・A/3,000円【同上】

★入場券は全て期日指定
お問い合わせ先
 SIMC組織委員会まで TEL715-8210



ヴァイオリン部門 ピアノ部門 課題曲数 ●予選は、指定された古典派の協奏曲と独奏曲群から数曲選択。 ■ヴァイオリン セミファイナル 6曲 ファイナル 20曲 ■ピアノ セミファイナル 5曲 ファイナル 21曲	5/12(土)~15(火) 5/26(土)~29(火)	5/19(土)~21(月) 6/2(土)~4(月)	5/25(金)~26(土) 6/8(金)~9(土)
予選 独奏曲&協奏曲 弦楽四重奏伴奏	セミファイナル 協奏曲 オーケストラ伴奏	ファイナル 協奏曲 オーケストラ伴奏	各部門15名以内 各部門6名以内

「演奏者の個性を探しに来て下さい。」「仙フィルも体力の限界に挑みます!」

—コンクールの準備はどのように進めているのですか。
 入交 定演やブレ企画で、課題曲にももって取り組んでいます。あまりにも曲数が多いので、コンクールが始まってしまおうと譜面を見ている暇もなくなってしまうんですよ。

梅田 仙台でこういう機会があるというのはいいですね。
 入交 しかし1ヶ月もの長丁場で、我々もハードスケジュール。しかもファイナルに残った方が、皆さん違う曲を演奏するとなつたら……(笑)

—Vn部門でセミファイナル6曲、ファイナル20曲。Pf部門ではセミ5曲、ファイナル21曲というレパートリーに取り組むのは大変ですね。
 渋谷 特に管楽器は、弦と違ってひとりで勝負ですからね。
 入交 管はね、吹きっぱなしだと、唇が。
 矢崎 そう。腫れっぱなし。
 梅田 いつも唐辛子を食べているみたいな?
 矢崎 そうそう(笑)。
 入交 冗談で、モーツァルトを選んだ人が合格すればいいなと話していたんですよ、ラクなので(笑)。それがストラヴィンスキーとかベルク、バルトークの曲となるよ。

矢崎 オケもソリストと同じ旋律を弾いてかけあひをする、という形になつて大変なんです。
 渋谷 逆にファ、ナルの方が、バガニ二、チャイコ、スキー、シベリウス

梅田 課題曲の譜面を持って帰って、家で残業です。
 西江 でもこの座談会で「大変だ!」という話ばかりでは、お客さんが入らなくなってしまうのでは……(笑)。
 渋谷 それはいいですね(笑)。でも、このコンクールは早いうちからオーケストラが関わるといふ点で他には無い形です。やはりそこが面白いと思えますよ。

—ところで、ソリストとオケの相性というものはあるものでしょうか。
 入交 それを言うなら、ソリス

あたりに絞られるかなと予想しますよね。コンクールはどうしても派手な曲が選ばれがちですから。
 梅田 セミファイナルが難曲ぞろいなんです。
 入交 中には仙フィルでかつて取り組んでいなかった曲もありまして。
 矢崎 ですが取り組んだといつても、大変だったという記憶だけがあります。
 渋谷 忘れてしましますよね、半年以上経ってしまうと。日頃、次から次へといろいろな曲に取り組んでいますか。

インタビュー-From 仙台

前回のインタビューに引き続き、N.Y.オーディション合格者である杉浦有朗さん(ピアノ部門)にEメールを利用してインタビューを行いました。
 杉浦さんは現在アメリカ在住です。高校卒業後すぐに渡米、クラシックの他にも、ジャズやラテンアメリカの音楽など様々な種類の音楽が混在しているアメリカで音楽の勉強をする事は幼い頃からの夢だったそうです。

Q. N.Y.オーディションではラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を弾かれましたが、選曲の理由を教えてください。
 A. ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番は協奏曲の中でも私が一番好きな曲でしたので、この曲を選びました。
 Q. ピアノを弾かれる際にどんな事を心掛けていますか。
 A. すべての音と沈黙を聞くことに集中するようにしています。和音、音響、旋律そして音のない瞬間をも意識して聞くよう

心がけています。
 Q. いよいよ予選まで、1月あまりとなりましたが、今の率直な気持ちを聞かせて下さい。
 A. 世界中から集まるピアニストたちの演奏を聴いたり、彼等と共に演奏の機会を持つてるととても楽しみにしています。

ニューヨークオーディションでの杉浦さんの演奏は大変耳に心地よい演奏でした。それは、杉浦さんがご自身でも聞くことを重視して演奏しているからではないかと、今回のインタビューを通して感じました。杉浦さんは今まで仙台には訪れた事がないそうです。オーディション開催時は、仙台が一番美しい時期です。全ての参加者が心地よくコンクールに参加して頂ければと思います。

(ジュリ)